

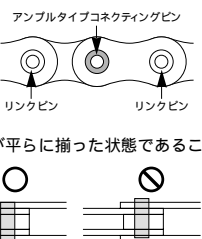
安全のために必ずお守りください。

警告

チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落とし等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプコネクティングピン	工具
CN-7801 / 6600 / 5600 10段対応 スーパーナローチェーン	溝付(3)	TL-CN32 TL-CN23 TL-CN27
	溝付(2)	

OEMむけに供給しているエンドピン付き仕様のチェーンもシマノ製チェーン工具で連結できます。連結方法はアンブルタイプコネクティングピンと同じです。スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンで連結された箇所を切断するとチェーンを損傷します。連結後、コネクティングピンの両端とリンク面が平らに揃った状態であることを必ず指で触れて確認してください。(反対側のピンを折った箇所は、ごくわずかに突き出した感じになります)チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルト、ナット等が緩んだり、製品が破損しますと、突然に転倒して怪我をする場合があります。取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。



使用上の注意

変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し稼働部に注油してください。リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。定期的に変速機を洗浄し稼働部(メカニズム部及びプリー部)に注油してください。変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短すぎたりしていないかを確認してください。プリー部のガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がるようになった場合は、プリー部を交換してください。円滑な操作のため、SIS-SPケーブル、B.B.ガイドをご使用ください。インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。

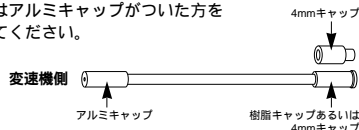
ご使用方法

SI-5VN0B

RD-5600

リアディレイラー

インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいので、ご使用できません。アウターケーブルはアルミキャップがついた方を変速機側に使用してください。



通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

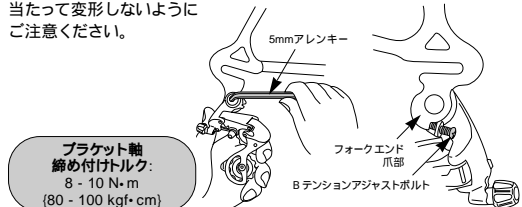
シリーズ		105
シフティングレバー	ダブル	ST-5600
	トリプル	ST-5600
スピード		10
アウターケーブル		SIS-SP41
リアディレイラー		RD-5600
タイプ		SS / GS
フリーハブ		FH-5600
カセットスプロケット		CS-5600
チェーン		CN-5600
B.B.ガイド		SM-SP17

仕様

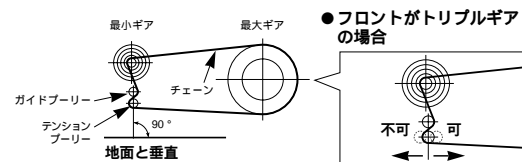
タイプ	SS	GS
トータルキャパシティ	29T以下	37T以下
リア最大ギア	27T	27T
リア最小ギア	11T	11T
フロント歯数差	16T以下	22T以下

フレームへの取付け

取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようにご注意ください。

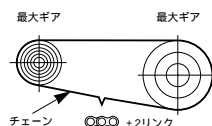


チェーンの長さ



スプロケットのトップが15T、16Tの場合

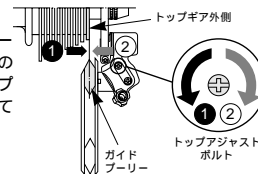
フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



ストローク調整とケーブルの固定

1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



2. インナーケーブルの固定

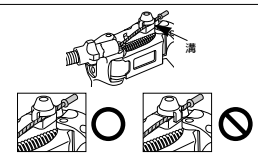
インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。

締め付けトルク：
5 - 7 N・m (50 ~ 70 kgf・cm)



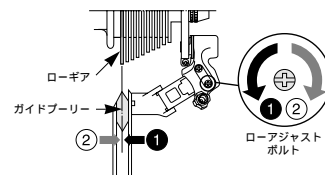
注意

インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



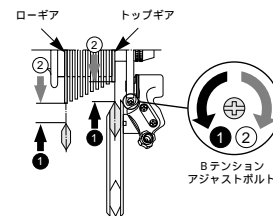
3. ロー側の調整

ガイドプリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



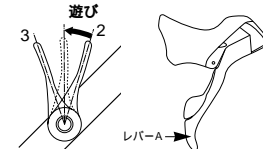
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンつまりしない位置までガイドプリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンつまりがないことを確認してください。



5. SISの調整

シフティングレバーを一回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



サード(3段目)に変速する場合

全く音鳴りがしない場合

チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる。(時計方向)

サードギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める。(反時計方向)

ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。

*レバーをもとの位置に戻し(レバーはセカンドの位置でレバーから指を離れた状態)、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

レバーを操作して変速し各段で音鳴りが無いことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部位にオイルメンテナンスを行ってください。